

\*横須賀を中心に近隣のみどころを紹介するコーナーです

# 第32回 追浜・浦郷の史跡と“今”を歩く



夏島貝塚の出土地に隣接する明治憲法の起草地記念碑をスタートし、近代化遺産や史跡が盛りだくさんなコースを歩きます。「海の駅」として脚光を浴びている深浦湾を眺め、浦郷公園の河津桜や能永寺の枝垂れ梅に春の訪れを楽しんだら、ゴールは間近です。(距離約6km、所要時間:約3時間)

※日産研究所バス停までの便は本数が少ないのでご注意ください。日曜・祝日は運行していません。  
※コース上に記載の一部施設は現在も民間企業が使用しています。公道から静かに見学しましょう。

## 貝山緑地

昭和5年(1930)、横須賀海軍航空隊海軍飛行予科練習生制度(通称「予科練」)が設立された。当時を偲ばせるものとして「予科練誕生之地」碑、「海軍航空発祥之地碑」などがある。緑地内には杏の木が植えられ、坂を上った広場には展望台もある。また緑地の地下には長大な地下壕が広がっている。現地案内板あり。



スタート

日産研究所バス停

## 明治憲法起草地記念碑

伊藤博文等はプロイセン憲法を参考に明治憲法を起草。碑は76条に因み76個の石を使用、底辺の縦横の長さは憲法発布日にちなみ設計している。



## 烏帽子巖の碑

現地に案内板あり

## 追浜浄化センター

“旧予科練”兵舎があった場所。現在、敷地の一部が“トンボの王国”として平日(8:30~17:00)のみ開放されている。平成12年には「甦る水100選」で建設大臣賞を受賞。

## 海軍航空技術廠本庁舎跡

昭和7年(1932)、海軍航空廠が開設、昭和14年(1939)に海軍航空技術廠と改称した。ここでの技術が後に新幹線や飛行機(YS-11)の製造に継承されている。跡地に昭和天皇行幸記念碑と文化財説明板がある。

## 官修墓地

追浜隧道の入口から階段を上り案内板を右に行く。西南戦争に従軍し、帰郷の途中コレラで病死した遺族不明の兵士48人が埋葬された。のちに3人の遺族が名乗り出ている。

## 能永寺

横須賀では珍しい時宗のお寺。本堂には、裏丘陵斜面から出土した榎戸貝塚骨角器が展示。(見学は要連絡)

## 第一航空技術廠工場群遺構

階段

## ゴール

榎戸バス停

## 浦郷公園

江戸時代、相模湾で獲れた魚を榎戸(現在の深浦湾)まで運ぶ「魚荷道」があった。現在、榎戸湊は埋め立てられて公園になり、河津桜が植えられている。

## 深浦ボートパーク

ボートの係留地。昨年「よこすか・ふかうら海の駅」としてデビュー。2月18日には近くの漁協でわかめの収穫祭が開催される。

